

第 10 回 マリン FM 番組審議会  
株式会社横浜マリンエフエム「第 10 回番組審議会」の議事録

1.期間 令和 6 年 8 月 30 日(金)

2.開催場所 書面審議開催とした。

3.委員総数(5 名)

- ・ 松澤秀夫 委員長
- ・ 神山 篤 委員
- ・ 小松典子 委員
- ・ 三上章彦委員
- ・ 幸山義紀 委員

放送事業者側(2 名)

- ・ 代表取締役 笹原延介 ・ 取締役 田畑三津広

はじめに 放送番組審議会は通常、委員の皆様にご参集いただき開催しているが、今 回は番組また弊社事業内容に対して書面にてご意見をいただく形で開催した。

4.議案

(1)番組に対する意見

番組名：           サタデーナイトメーカー

放送日時         毎週土曜日 20:00～22:00 生放送

番組テーマ：    青春とは何だ！五十路を超えてもアオハル中毒

メールテーマ：  青春時代の思い出を教えてよ 初めてのデートとか 友だちとの冒険とか 恥ずかしい青春の話

(委員)

・約 2 時間の録音でしたが、前半の 6 0 分と後半の 6 0 分はかなり違いました。

・前半は、テーマに「アオハル」を取り上げ、青春の辞書的定義、坂口安吾、文化祭、制服、アルバイトなどコンテンツは良いのですが、話が深まるところで下脱線し、話の腰が折られる感じがしました。結果として、冗長に感じまし

た。

- ・投稿がたくさん来ていると言うコメントをしつつ、紹介が少ないのは遺憾でした。

- ・後半は一転して冒頭から横浜の街ネタで、曙町の青線建築と街の歴史から始まりました。

- ・結びもスポーツネタで YSCC が取り上げられていました。コミュニティ FM らしい地に足がついた展開だったと思います。

- ・また、テーマの「アオハル」についても、どれも具体的なエピソードに基づいた話の展開だったので、「なるほどそういうこともあるよね～」と言う共感を覚える内容でした。

- ・出演者3人の呼吸も合っているように思いましたし、同じ時間なのに内容が詰まった感じがしました。下ネタが話の展開のスパイスのように効果的に使われていました。

- ・後半の「サミュエル・ウルマン」の収まりは前半の「坂口安吾」と対照的にしっかり決まっていました。

閉会

以上